

「Hey Iccho Agali ! 」(コード譜移調ツール)の機能について

(取扱説明書)

1. 概要	4
2. 初期セッティング	4
1. 動作環境の確認	4
2. ダウンロード	5
3. インストール	5
3. アンインストール(パソコンからプログラムを削除する)	5
4. モードについて	5
1. コード入力シート	5
2. 譜面確認と移調	5
5. 作業の手順について	5
1. 空小節を作成する	6
2. 小節の拍到コードを入力する	6
6. コード入力シート モードの機能について	6
1. 曲の基本情報 パネル	7
① 曲名入力ボックス:	7
① 作詞者入力ボックス:	7
② 作詞者入力ボックス:	7
③ 原曲(基準にする)キー入力ボックス:	7
④ 参照テンポ表示チェック:	7
⑤ 参照テンポ入力ボックス:	7
2. 小節と拍の選択 パネル	7
① 小節(表示、選択)ボックス:	7
② 拍(表示、選択)ボックス:	7
③ 小節内最後拍(表示、選択)ボックス:	7
3. 小節選択に対する設定 パネル	7
① 挿入 ボタン:	7
② 削除 ボタン:	7
③ 拍数変更 ボタン:	8
④ 追加 ボタン:	8
⑤ C. コピー ボタン:	8
⑥ C. 貼付け ボタン:	8
4. コード設定 パネル	8
① コード 1(キー) 選択ボックス:	8
② コード 2(型) 選択ボックス:	8

③ コード 2(On または /) 選択ボックス:	8
5. 反復とその他の情報 パネル	8
① 小節先頭に設定:	8
② 小節最後に設定:	8
③ 拍上のどの位置にも置けるその他の記号と情報:	8
6. 楽譜表示 パネル	8
① コード譜表示:	8
7. 略語 パネル	9
① 略語:	9
8. 楽譜確認と移調モードのための情報 パネル	9
① 1 行あたりの 小節数:	9
② 行の最初の拍のコードがブランクの場合:	9
③ 譜面確認と移調(モード)へ移動 ボタン:	9
9. 情報 パネル	9
① コピーバッファデータの 小節番号:	9
② 最後の 小節番号:	9
③ 残りの表示領域の場合:	9
10. 東北震災復興支援宣言	9
① 東北震災復興支援宣言 ボタン:	9
11. メニューバー(ファイル)	10
① 新規(初期設定に戻す):	10
② 新規(テンプレート):	10
③ 開く:	10
④ 上書き保存:	10
⑤ 名前を付けて保存	10
⑥ 閉じる:	10
12. メニューバー(モード)	10
① 譜面確認と移調:	10
13. メニューバー(ヘルプ)	10
① 取扱説明書:	10
② バージョン情報:	10
7. 譜面確認と移調 モードについて	11
1. コード入力 シートからの曲の基本情報 パネル	11
① 曲名:	11
② 作詞者:	11
③ 作曲者:	11
④ 原曲(基準にする)キー:	11
⑤ 前回保存されたキー:	11

⑥ 参照テンポ(拍数/分 =):	12
2. 移調(トランスポーズ) パネル	12
① 移調(トランスポーズ):	12
② 黒鍵にあたるキーの表記スタイル:	12
3. 追加の配置設定 パネル	12
① 配置:	12
4. コード譜表示 パネル	12
① コード譜表示:	12
5. メニューバー(ファイル)	13
① 印刷設定:	13
② 印刷プレビュー:	13
③ 印刷:	13
6. メニューバー(モード)	13
① コード入力 シート:	13
7. メニューバー(ヘルプ)	14
① 取扱説明書:	14
② バージョン情報:	14
8. アップデート情報ならびにお問い合わせ	14
1. アップデート情報	14
2. お問い合わせ	14

1. 概要

「Hey Iccho Agali !」は、楽器の初心者から、ミュージシャンまでを対象とした、簡単にコード譜の移調が可能となるツールで、特にコード奏法を行う楽器の演奏者をサポートします。カラオケでキーの高さを変えて自分の歌いやすいキーを設定するのと同様の感覚で、オリジナルのコード譜の簡単な入力作業は必要ですが、パソコンのキーボードに不慣れな方でも、マウスでの簡単入力ですぐの入力が可能です。あくまでも譜面上でのコード表記の変換で、一度対象となる曲のコードをこのソフトに入力しておくことで、以下のような場面で非常に役立ちます。

1. 声域に合わせたキーに、コード楽器のコード譜を移調させることができます。
2. 楽器の持つ特有の基準キーの為に合わせ辛かったアンサンブルも、これでコード譜が簡単に移調されることで煩わしさが解消します。
3. 覚えたコードが少ないような場合、弾きたい曲のキーを変えてみて自分が知っているコードが多いキーを探すことが可能です。
4. コード進行の勉強の助けになります。
5. 結果の印刷によるコード譜だけでなく、ディスプレイに譜面確認と移調モードでコード譜を表示させて、それを見ながらの演奏が可能です。その場で、異なるキーで覚えていた人とのアンサンブルもすぐスタート可能となります。また、演奏中に両手が塞がっている場合の譜面のページ送りは、フットスイッチを使用することで簡単に行えます。

ボタン等の操作対象は、非常に解りやすく作業内容ごとにパネルに纏められています。操作による状態の変化に応じて操作するボタンの有効、無効がボタンごとに切り換えられるので、安心して操作が行えます。例えば、曲の基本情報以外のコード譜作成の初期入力状態では、小節内最後拍の数値入力のみが行える状態で、その数値は 1 ~ 8 の値を選択できるようになっています。取扱説明書を読むことなく操作が解る、使用者にやさしいプログラムとなっています。また、以下の「2. モードについて」と「3. 作業の手順について」の部分を中心に留めておくだけで、さらにその操作はスムーズでスピーディなものになります。

2. 初期セッティング

1. 動作環境の確認

以下のシステムで動作します。

- ・ パーソナルコンピュータ
 - ・ 動作 OS (Operating System): Microsoft® Windows® XP/Vista/7
 - ・ .NET Framework 4 で動作します。(既にインストールされている場合は、インストール作業は不要です。 .NET Framework 4 は Microsoft のサイトから無料ダウンロードしてインストールが可能です。また、 .NET Framework は、異なるバージョンを 1 台の PC にインストールできます。 .NET Framework 4 がインストールされていない PC では、「Hey Iccho Agali !」のインストール時に、インストールするか確認が行われますので、指示に従って操作を行います。)

2. ダウンロード

ダウンロードボタンをクリックします。ダウンロード用のウィンドウが表示されます。ダウンロードファイルを保存する場合は [保存] を、保存しない場合は、[開く] をクリックします。

[保存] をクリックした場合は、ダウンロードした zip ファイルが入ったフォルダが、[開く] をクリックした場合は、zip ファイルが解凍された状態のフォルダが表示されます。また、zip ファイルはダブルクリックすると解凍されます。

3. インストール

ダウンロードされたフォルダの中の [Setup1.msi] ファイルをダブルクリックし、表示されるウィンドウに従って操作します。[インストールが完了しました。] の表示まで到達すれば完了です。 .NET Framework 4 がインストールされていないPCでは、そのことが表示され、無料ダウンロードしてインストールするかの確認が行われますので、指示に従ってインストールを行います。すべてのインストールが完了すると、デスクトップにショートカットアイコンが作成されて使用可能な状態になります。

3. アンインストール（パソコンからプログラムを削除する）

Windows の [スタート] ボタンから [コントロールパネル] ボタンをクリックし、[プログラムと機能] を選択します。表示されたプログラム一覧から [HIA1_JA] を右クリックして表示される選択から[アンインストール]をクリックします。後は表示の指示に従ってボタンをクリックします。アンインストール後は、[プログラムと機能] のリストのプログラムの表示が消えていますし、ショートカットアイコンも消えています。

以下からが「Hey Iccho Agali !」の内容に関する説明になります。

4. モードについて

モードは、「コード入力シート」と「譜面確認と移調」で、以下の機能に分けられています。

1. コード入力シート

原曲の基本情報の入力、空小節を設定し、その拍に対してのコード入力を行うモードで、ファイル操作もこのモードで行います。このモードでのコード譜面は、1 段の帯の状態となっています。

2. 譜面確認と移調

コード譜面として見て演奏できる状態の表示となります。移調(トランスポーズ)量を +、-、することで曲全部のコードのキーが一度に変化します。印刷はこのモードで行います。

5. 作業の手順について

原曲の基本情報の入力後、原曲の入力を行いますが、まずコードが空の状態の小節を作る作業を行います。空の小節の構成を作り上げてから、コードの入力を行った方が操作は非常に楽になります。ですから、以下の手順となります。

1. 空小節を作成する

小節の拍数を [小節内最後拍] の数値入力ボックスの [▲] ならびに [▼] のボタンを使用して入力し、[追加] ボタンをクリックするだけで、空小節が作成されます。最後の小節が選択されている場合は、追加ボタンの使用が可能です。追加する小節は、1 ～ 8 の拍数の選択が可能ですので、変拍子の曲にも対応できます。拍数の同じ空小節を大量に作成する場合は、[ファイル] の [新規作成] の [テンプレート] を利用して一気に設定することができます。

2. 小節の拍にコードを入力する

空の小節の空の拍に対し、必要なコード、繰り返し記号ならびにその他の記号と情報を置いていきます。[コード設定] パネルと [反復とその他の情報] パネルは基本的にはボックスからの選択設定ですが、[コード 2(型)]、[小節先頭に設定] ならびに [小節最後に設定] に関しては、文字数制限があるものの、文字入力も可能です。[拍上のどの位置にも置けるその他の記号と情報] は文字入力のみです。

6. コード入力シート モードの機能について

このモードは、コード譜作成のために曲の基本情報の入力、小節構成の作成、ならびにコードの入力を行うモードです。

以下の [図 1] は、「Hey Iccho Agali !」を立ち上げた時の最初の画面です。



図 1

1. 曲の基本情報 パネル

① 曲名入力ボックス:

曲名を入力するボックスです。このソフトを立ち上げたときはこのボックスの入力待ち状態となっています。入力して [Enter] を押すと次の行を入力できます。[Tab] キーを押すと作詞者入力ボックスが入力待ちの状態になります。最大入力行数は、4 行です。

① 作詞者入力ボックス:

作詞者名を入力するボックスです。入力して [Enter] を押すと作曲者入力ボックスが入力待ちの状態になります。

② 作曲者入力ボックス:

作曲者名を入力するボックスです。入力して [Enter] を押すと原曲(基準にする)キーボックスが入力待ちの状態になります。

③ 原曲(基準にする)キー入力ボックス:

原曲のキーあるいは基準にするキーを入力します。[▼] のボタンをクリックして表示されるキーから選択して入力します。

④ 参照テンポ表示チェック:

参照テンポを表示させるかどうかを決めるチェックボックスです。表示させる場合は、チェックマークが入った状態、表示させない場合は、クリックしてチェックマークを外します。

⑤ 参照テンポ入力ボックス:

[▲] ならびに [▼] のボタンを使用してテンポ(1 分間の拍数)の数値入力を行います。キーボードの数値キーからの入力も可能です。

2. 小節と拍の選択 パネル

① 小節(表示、選択)ボックス:

選択中の小節番号が数値で表示されます。また、[▲] ならびに [▼] のボタンを使用してその番号の小節を選択することが出来ます。

② 拍(表示、選択)ボックス:

選択中の小節内の選択中の拍番号が数値で表示されます。また、[▲] ならびに [▼] のボタンを使用してその番号の拍を選択することが出来ます。

③ 小節内最後拍(表示、選択)ボックス:

小節内の最後の拍の番号を表示しています。小節を設定する場合この数字の拍数の小節が設定されます。

3. 小節選択に対する設定 パネル

([小節と拍の選択] パネルで表示されている小節に対しての操作です。この小節を現在の小節として説明します)

① 挿入 ボタン:

現在の小節の前に、[小節内最後拍] ボックスの数値の拍数の小節を挿入します。

② 削除 ボタン:

現在の小節を削除します。本当に削除してよいか確認のメッセージが出ます。

③ 拍数変更 ボタン:

現在の小節の拍数の変更を行います。拍数の追加/削除の変更は小節の最後拍 に/から 行われ、削除の場合は、本当に削除してよいか確認のメッセージが出ます。

④ 追加 ボタン:

現在の小節が最後の小節番号のとき、実行可能です。現在の小節に [小節内最後拍] ボックスの数値の拍数の小節を追加します。

⑤ C. コピー ボタン:

現在の小節のコード部分をコピー用バッファに確保します。

⑥ C. 貼付け ボタン:

コピー用バッファの 1 小節分のコードを、現在の小節に貼り付けます。同じ拍数でない小節が現在の小節の場合はこのボタンが無効となります。

4. コード設定 パネル

① コード 1(キー) 選択ボックス:

コードの基本キーです。[▼] のボタンを使用しての選択です。

② コード 2(型) 選択ボックス:

コードの型(タイプ)の部分です。[▼] を使用しての選択ですが、表記法が異なる場合への対応もあり、文字入力も可能としています。

③ コード 2(On または /) 選択ボックス:

指定ベース音がある場合に記されます。[▼] のボタンを使用しての選択です。

5. 反復とその他の情報 パネル

(反復記号は小節の最前部または最後部に置かれるのが通常ですのでその位置によって選択できる記号が異なります)

① 小節先頭に設定:

小節の最前部に置かれる記号群から選択して入力します。

② 小節最後に設定:

小節の最後部に置かれる記号群から選択して入力します。

③ 拍上のどの位置にも置けるその他の記号と情報:

最前部と最後部の小節を含めどの小節の位置にも数個の文字を置くことができます。反復に関する情報だけでなく、その他の音楽情報(表情記号やリハーサルマーク等)を置くなど、お使いいただく方のアイデアで使用して戴ける部分です。

6. 楽譜表示 パネル

① コード譜表示:

作成されるコード譜の表示用のエリアです。1 段のみのコード譜となり、帯状のイメージになります。表示幅より長い場合は水平スクロールバーが下に表示され、離れた場所への移動もマ

ウスで簡単に可能です。隣の拍への移動は、カーソルキーを使っても行えますし、小節と拍の選択のボタン操作でも可能です。

7. 略語 パネル

① 略語:

上記コード譜の横方向のエリアを確保するために、行タイトルを略語表記としています。その略語の説明をここに記してあります。

8. 楽譜確認と移調モードのための情報 パネル

① 1 行あたりの 小節数:

ページに纏めるときの 1 行あたりの最大小節数です。この数値は設定されている小節の状況(小節の拍数設定や変拍子の設定)で最大値が制限されます。

② 行の最初の拍のコードがブランクの場合:

通常行の最初が前の行の直前のコードと同じ場合は、その同じコードを書きますが、コードが変化するところだけにコードを表示したいと思われる方もおられるため、どちらか選択できるようにしています。

③ 譜面確認と移調(モード)へ移動 ボタン:

メニューバーの中にモードを変える箇所はありますが上記 2 点の確認出来れば後は確認なので、ここにモード変更用のボタンを置いています。

9. 情報 パネル

① コピーバッファデータの 小節番号:

コピーは小節単位ですので、現在コピーバッファに何番目の小節が確保されているかが表示されます。一部の操作ではバッファデータをリセットしているので、確認用として表示しています。

② 最後の 小節番号:

帯状のコード譜の長さに制限があるため、小節内の拍数の設定に応じて可能な最大の小節番号は変化しますが、目安として表示しています。1 小節がすべて 4 拍の場合、最大 439 小節目まで作成可能です。

③ 残りの表示領域の場合:

帯状のコード譜の長さがどの程度残っているかを割合の数値表示とバーで表示しています。

10. 東北震災復興支援宣言

① 東北震災復興支援宣言 ボタン:

レアリからの東北支援のメッセージを柱として目次に掲げたタイトルの内容を読んで戴けるように致しました。是非お読みいただき、開発の経緯や開発者の目指すところを感じながらお使いいただくと幸いです。目次のタイトル前の番号ボタンをクリックすると、その項目の内容が表示されお読みいただけます。

11. メニューバー（ファイル）

（選択できない項目はグレイ表示されます）

① 新規（初期設定に戻す）：

[初期設定に戻す] は文字通りですが、最初に現在のデータが失われる旨のメッセージボックスが表示されます。その保存等を先に行いたい場合は、一度 [いいえ] を選択し、その作業を実行してから、再度このメニューの選択を行います。

② 新規（テンプレート）：

空の小節を纏めて作成できます。テンプレート設定用の新たなウィンドウが開きます。先ず 1 小節の拍数を選択します。次に小節数を [▲] ならびに [▼] のボタンを使用して、または数字キーから入力します。小節内の拍数の設定に応じて可能な最大の小節数は変化しますが、目安としては 1 小節がすべて 4 拍の場合、最大 439 小節目まで作成可能です。[OK] で作成が開始されますが、小節数が多い場合、数秒の時間がかかります。

③ 開く：

開くファイルを選択するためのウィンドウが開きます。フォルダを選択し、その中からファイルを選択し、ファイル名に選択したファイル名が入力されていることをかく確認して [OK] ボタンをクリックします。開く作業に数秒かかることがあります。

④ 上書き保存：

このメニューを選択すると現在のデータを、直近に保存したファイル、もしそのファイルが存在しない場合はそのファイルを開いた時のファイルに上書き保存します。もし前のファイルを残したい場合は、そのファイルを別フォルダにコピーしておく等の事前の作業をお願いします。

⑤ 名前を付けて保存

⑥ 閉じる：

プログラムを終了します。終了確認のメッセージが出ます。データの保存が必要な場合は、コード入力シートのモードに切り替えて保存を行います。

12. メニューバー（モード）

（選択できない項目はグレイ表示されます）

① 譜面確認と移調：

次のモード（画面表示で演奏ができるようにレイアウトされて表示、移調の設定で瞬時に他のキーに書き替え可能、印刷もこのページから行う）に移行します。

13. メニューバー（ヘルプ）

① 取扱説明書：

この取扱説明書を読むことができます。

② バージョン情報：

バージョン情報を表示します。

7. 譜面確認と移調 モードについて

このモードは、コード入力シートモードで入力したデータを確認し、移調の実行、電子コード譜面としての使用ならびに移調したコード譜面を印刷するモードです。

以下の [図 2] がコード入力シートモードからこのモードに移行した時点の簡単なサンプルです。



図 2

1. コード入力シートからの曲の基本情報 パネル

コード入力シートモードで入力された情報を表示します。これらの情報に修正を加えたい場合は、一度コード入力シートモードに戻って修正を行います。

① 曲名:

このモードが開かれたときは、1行目のみ表示されていますが、[▲]ならびに[▼]のボタンを使用して4行まで確認可能です。

② 作詞者:

コード入力シートモードで入力された作詞者名を表示します。

③ 作曲者:

コード入力シートモードで入力された作曲者名を表示します。

④ 原曲(基準にする)キー:

コード入力シートモードで入力された原曲(基準にする)キーを表示します。

⑤ 前回保存されたキー:

前回このモードで最後に保存されたキーを参考に表示します。

- ⑥ 参照テンポ(拍数/分 =):
コード入力 シート モードで入力された参照テンポを表示します

2. 移調 (トランスポーズ) パネル

- ① 移調(トランスポーズ):
初期値は0でその右に上記の原曲(基準にする)キーと同じキーが表示されます。[▲] ならびに [▼] のボタンを使用して移調を行います。移調後のキーが右の四角の枠に表示されると同時に、コード譜のすべてのコードの「キー」ならび「On」が移調された表示となります。
- ② 黒鍵にあたるキーの表記スタイル:
黒鍵にあたるキーの表記に関し、#またはbに選択できます。この表記は、曲全体に関して適用されます。個々の拍に関し個別に設定することには、このバージョンでは対応していません。

3. 追加の配置設定 パネル

- ① 配置:
配置の設定を行います。このモードが開かれたときは、左寄せ(インデント = 0)で表示されています。[左寄せ] または[中央配置]を選択し、さらに左寄せのインデントの設定を行う場合は、その右の数値ボックスの[▲] と [▼] のボタンあるいはテンキーからの数値入力の後、[設定] ボタンをクリックします。インデントの数値は画面のピクセル単位です。参考値としては、フォーム・ウィンドウの横幅は、1,024 ピクセルです。

4. コード譜表示 パネル

- ① コード譜表示:
コード入力シートで設定された小節数で段が変えられたコード譜が表示されます。表示されたコードキーは、上記の移調(トランスポーズ)量に応じて移調されたコードを表示します。6 段以上の場合はパネル右側にスクロールバーが現れますので、マウスを使ってそのスクロールバーを動かすことで全体の確認が行えます。コード譜表示を確認しながらの演奏中にスクロールバーを動かしたい場合は、フットスイッチ等を使用してお確認ならびに演奏が可能です。
以下の [図 3] は、前出の表示から -3 移調(半音 3 個下げた)したコード譜です。ボタンを 3 回クリックするだけで、あっという間に一丁上がりです。



図 3

5. メニューバー (ファイル)

(選択できない項目はグレイ表示されます)

① 印刷設定:

印刷のページ設定のウィンドウを開きます。用紙(サイズ(A4 を推奨)、給紙方法)、印刷の向き、余白(ミリ)(上下左右個々に設定)を設定できます。

② 印刷プレビュー:

印刷プレビューのウィンドウを開きます。プリント出力のレイアウトの確認が行えます。画面の追加の配置設定はあくまでも画面上での機能ですので印刷には反映されません。印刷時は用紙 A4 のセンター配置が基準設定となっています。

③ 印刷:

印刷実行に関する設定と実行が行えます。

6. メニューバー (モード)

(選択できない項目はグレイ表示されます)

① コード入力 シート:

このモードに入る前のコード入力を行うモード(曲の基本情報ならびに小節の作成、ファイル操作もこのモードで行う)

7. メニューバー（ヘルプ）

- ① 取扱説明書：
この取扱説明書を読むことができます。
- ② バージョン情報：
バージョン情報を表示します。

8. アップデート情報ならびにお問い合わせ

1. アップデート情報

アップデート情報ならびに有料版の内容に関する情報は、株式会社レアリの Web サイト (<http://www.reali.co.jp/>) ページから発信されます。

2. お問い合わせ

お問い合わせに関しては、上記 Web サイトのお問い合わせ先へのご連絡をお願いいたします。
特に、操作等のお問い合わせに関しては、E-mail (reali@reali.co.jp) にてお願いいたします。

では、“Hey Iccho Agali !” を使って音楽生活をお楽しみ下さい。

2012 年 5 月 8 日 版

株式会社 レアリ

Copyright©2012 Reali Corporation All Rights Reserved.